亀井病院広報誌

秋

2025 Vol.56

Pipi ピピ

品質管理室

品質管理室の取り組み

ブラッシュアップセミナー

Topics クレジットカード支払いについて / 新入職員のご紹介

栄養部　カメイのゴハン　米粉シチュー

品質管理室の取り組み ～亀井病院を支えるプロフェッショナルたち～

私たち亀井病院は、提供する医療の質を高い水準で維持し、さらなる改善・向上を目指し続けています。

品質を総合的に管理する部門として、多職種からなる品質管理室を設置し、活動しています。その役割は多岐に渡り、亀井病院が目指すビジョン（方針や将来像）を組織として具体的にどのように取り組むのか、実践するための環境やルールをどう整備するのか、そしてそれがしっかりと運用されているかをマネジメントすることが仕事です。

今ある課題や数年後を見据えた仕組みづくりや、いかにビジョンを職員全員に浸透させ実現していくのかを、ミーティングを重ね、時には各部門や経営者とも相談し、実践を繰り返しています。まさに「はじめの一歩」、トライ＆エラーの繰り返しです。

より良い医療を提供するために

一言で「質の良い医療」を説明することは難しいです。診察に来られる方、付き添われるご家族が「亀井病院で診てもらっていて良かった」と実感してもらうことが大前提だと考えています。

そのために私たちは、診療に関わる医療の質をしっかりと確保する仕組みを整備しています。仕組みを動かす人の教育や、設備・機器が安全に使用できるように維持管理を徹底しています。年２回の**内部監査**では、多職種が１チーム２名で全部門を監査します。監査では、**各部署の手順や記録、設備・環境などをルールに沿って確実に行えているかを多角的にチェック**しています。普段は接する機会

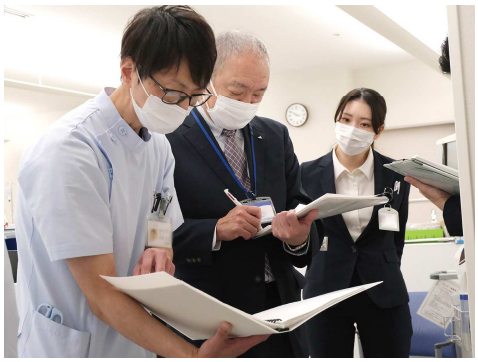
当院の施設認定等

ワークライフシナジー

●日本泌尿器科学会泌尿器科専門医拠点教育施設　●日本腎臓学会認定教育施設
●日本透析医学会専門医制度認定施設　●日本高血圧学会認定研修施設
●日本動脈硬化学会専門医認定教育施設　●日本緩和医療学会認定研修施設
●日本緩和医療学会連携施設　●日本麻酔科学会麻酔科認定病院
●日本アフェレシス学会認定施設　●日本臨床栄養代謝学会 NST 稼働施設
●DPC 対象病院　●一般病棟入院基本料（急性期一般入院料２）
●産休・育休後の復職率 100%を 21 年間継続しています

の少ない職種でも、内部監査を通じて現場実情を知る機会になり、働く職員との対話によって改善案が生まれるなど、組織全体で考えるきっかけになっています。

また、モノサシのひとつとして ISO:9001 の第三者認証を毎年受審し、日本病院機能評価の認定も受けています。**外部審査**では、第三者の視点で審査員が病院全体を基準に沿って評価します。それにより**内部の視点では気付き難い課題や新しい改善の方向性が示される機会**となります。こうした審査は私たちの医療の質が信頼されるための客観的なモノサシとなっています。



外部審査のようす

この双方を活用することで、現状に甘んじない、常に前向きに考え、実行し課題にチャレンジし続けるための風土が定着しています。

現場の声をカタチにする

安全で効率的、かつ働きやすい職場環境や、受診しやすい環境をつくることは、質の高い医療提供にも直結します。

患者さまやご家族からの声は「患者さま・ご家族の声」「応援メッセージ」「ご意見箱」から集まります。実際の声を聴くことで一段階上の気づきを得ることができます。

また、**職員から病院への声は「亀井の提案書」から集められます。**「-- 亀井の未来をカタチにする --」そんなミッションを掲げながら、業務改善や職場環境などのアイデアを募っています。

今年からは**個人のスマートフォンからQRコードを読み取り、簡単に投稿できる方法を開始しました。**職場内での雑談から生まれるアイデアや、休憩室でふと閃いたことをすぐに送信できる仕組みとなっています。

スタッフ一人ひとりが病院の一員である意識を持ち、自ら考えて行動して協力しあうことで、改善を大切にする文化をさらに育てることができると考えています。そして「やりがいがあり、笑顔と親切が溢れる病院」として自他ともに認められる日を目指しています。

カゲから支える存在として

私たち品質管理室が目指すのは「現状維持でなく将来を見据えて常に考え、ひとつ上を目指し続けること」です。未開拓への挑戦を続ければ、成功・不成功が起こります。成功は私たちの強みに、不成功は糧になります。

「亀井病院があるから安心だ」――そう感じていただける病院を目指し、地域の方々に貢献していくため縁の下の力持ちとして、医療を提供する”質”にこだわり続けています。

第５回 ブラッシュアップセミナー　～最強のチーム医療を目指して～

８月 23 日、神戸市にある原泌尿器科病院と合同で「第５回 ブラッシュアップセミナー　～最強のチーム医療を目指して～」を開催しました。これは神戸市の原泌尿器科病院と一緒に年１回開催しているもので、異なる地域で同じ志を抱いている２病院が最強のチーム医療を目指すため、**学術的・経営的視点での情報交換などを行い、相乗効果による両病院の成長発展に繋げることを目的としたセミナー**です。

５回目となる今回は当院がセミナー会場となり、原泌尿器科病院から 24 名、当院からは 26 名の計 50 名が参加しました。

部署見学で深まる相互理解

セミナーの前半は、両病院のスタッフが部署ごとに分かれ、実際の業務現場を見学しました。自院の中では当たり前に行っている仕事も、他院の現場を目にすると新鮮で、「同じ器具でも設置の仕方が違い、その工夫に学びがあった」「同職種の方から具体的な取り組みを聞けて参考になった」といった感想が寄せられました。

たとえば、お薬カレンダーを使った服薬管理の工夫や、見守りカメラを活用した転倒・転落予防の仕組み、さらには認知症患者さまへの声かけや環境調整の方法など、細やかな取り組みを紹介させていただくと、参加者は熱心にメモを取ったり、質問を投げかけたりと、関心の高さがうかがえました。また、設備の違いから生まれる発想や、業務の流れをより効率的にするための配置の工夫など、現場だからこそ伝わる学びも多くありました。

参加者からは「同職種の方の具体的な情報がとても興味深かった」「実際の業務を直接見学できたのがよかった」といった感想も寄せられ、机上の説明では得られない“体感”による理解が、双方の相互理解を深めるきっかけになりました。見学後には「自院でも取り入れてみたい」との声もあがり、学びが次の実践につながる手ごたえを感じられる時間となりました。

Pipi、ってなあに？

「Pipi」とは フランス語で「おしっこ」の意味です。
広報誌の発刊が決まったとき、職員に名称を募集したところ、集まったもののなかでキラリと光っていたのが Pipi でした。当院の特徴である腎・泌尿器を表現できているのではないかと思っています。

昼食をとりながら意見をブラッシュアップ

昼食の時間には、お弁当やお菓子を囲みながら和やかな雰囲気の中で意見交換が行われました。食事をともにすることで緊張がほぐれ、普段の会議や業務ではなかなか聞けない意見や本音が自然と出てきました。仕事に関する真剣な話だけでなく、日常の話題や趣味の話も交えられ、リラックスしながら交流が進んだことで、普段以上に本音で語り合える場となりました。

現場で得た学びを全員でシェア

午後からは見学で得た気づきや疑問を参加者全員で共有し、意見を交わしました。「両院を比較しながら話し合うことで、それぞれの業務のメリット・デメリットが明確になった」「他院の工夫を取り入れた際の効果までイメージでき、具体的なビジョンを描くことができた」といった声が聞かれました。また、情報共有のスピードや“見える化”の工夫が業務効率の向上につながることを改めて実感する場にもなりました。さらに、医師やクラークなど異なる職種間で建設的な意見交換ができたことも大きな成果でした。お互いの立場を理解し合う良い機会となり、現場に生かせる学びを多く得ることができました。

十分な交流時間が確保されていたため、気になることをスタッフ同士で積極的に質問し合い、その答えをじっくり理解することができました。

「普段は気づかない良い点や課題を改めて認識できた」「同じ立場の職員と意見を交わせたのが有意義だった」といった感想も多く、**参加者一人ひとりが主体的に関わることで、成長のきっかけを持ち帰ることができました。**

こうした機会を通じて、自院の課題を見直し、次につながるヒントを得られたことが、大きな成果であると考えています。これからも交流を続けることで、最強のチーム医療を実現していきたいと思います。

Topics　クレジットカード払いについて

患者さまの利便性の向上を目的として、以前より多くお声をいただいておりました、クレジットカードのお取り扱いを７月１日より開始いたしました。診療費（入院費・外来費）のお支払いにご利用いただけます。

手術・入院などで診療費が高額になっても、事前にお金を用意したり持ち歩いたりせず、クレジットカードを使ってのお支払いが可能です。ぜひご活用ください。

※一括払いのみになります。
※QR コード決済、デビットカード、電子マネーは使用できません。

新入職員のご紹介　①氏名　②職種　③出身地　④趣味・特技　⑤抱負をひと言

① 北島 千夏（きたじま ちなつ）
② 准看護師　③ 徳島県
④ 阿波踊り(ほんま連に所属してます)
⑤ 看護師免許取得を目指し、看護学校に通いながら働かせていただくことになりました。積極的に様々なことを学び、努力していきたいです。

①谷奥 三加子（たにおく みかこ）
② 看護師　③ 徳島県
④ おいしいラーメン屋さんを探すこと
⑤ 患者さまが安心して過ごせる看護を提供できるよう日々努力します。また、患者さまが笑顔になれるよう明るく元気に頑張ります。

① 長江 彩子（ながえ あやこ）
② 看護助手　③ 徳島県　④ スポーツ観戦
⑤ 医療現場で様々なことを勉強し、患者さまに寄り添うことのできる看護師になれるよう頑張ります。

カメイのゴハン

米粉シチュー

今回は、米粉を使った料理をご紹介します。

米は日本人の主食ですが、今年は米の価格が高騰するなど、手に入りづらくなる場面もありました。最近は、食物アレルギーの観点から、小麦の代替品として米粉を使った料理レシピが増えてきました。

今回ご紹介する米粉シチューは、小麦を利用した通常のシチューと同じような見た目で仕上がり、とろみも同じようにつく一方、あっさりとした後味です。脂質はなんと通常のシチューの 1/10 となります。

れんこんやごぼうといった和食にも使用される根菜類との相性も良く、これからの季節にぴったりの一品です。今回は鶏もも肉を使用しましたが、ベーコンなどを利用しても美味しく仕上がりますよ。　（管理栄養士 武市 朋子）

材料（2人分）

- 鶏もも …… 60g
- 玉ねぎ …… 100g
- れんこん …… 50g
- ごぼう …… 40g
- さつま芋 …… 120g
- いんげん …… 20g
- 塩・こしょう … 少々
- コンソメ …… 小さじ 1
- バター …… 20g
- 水 …… 200cc
- ★牛乳 …… 200cc
- ★米粉 …… 大さじ 2

つくり方

① バターを鍋に溶かし、ひと口に切った食材を入れ、塩・こしょうで炒める。

② ある程度炒めたら、水を入れて煮込む。

③ 煮込んだら★を入れ、トロッとしたとろみがつけば、コンソメで味を調整する。

エネルギー：343kcal　リン：285mg
たんぱく質：10.9g　食塩相当量：1.9g
カリウム：694mg　（1人分）

外来診療のご案内　令和７年 10 月現在

	月	火	水	木	金	土
腎・泌尿器科						
9:00 ～ 12:00	●	●	●	●	●	●
14:00 ～ 16:30	●	●			●	
透析						
7:30 ～	●	●	●	●	●	●
13:00 ～	●	●	●	●	●	●
18:00 ～	●		●		●	
腎臓・高血圧外来						（第 2･4 土曜のみ）
9:00 ～ 12:00	●			●		○
総合診療						（第 1･3 土曜のみ）
9:00 ～ 12:00	●	●		●		○
14:00 ～ 16:30	●					
麻酔科						
9:00 ～ 12:00	●	●	●	●		
整形外科						（第 2･4 土曜のみ）
9:00 ～ 12:00						○
緩和ケア						
9:00 ～ 12:00			●			

※緊急の検査・手術や学会出張等で変更になる場合があります。

※当院は予約制ですが、予約外の方も対応可能です。ご来院前にお問い合わせください。TEL : 088-668-1177

※毎月 (月 1 回) のマイナ保険証の提示にご協力ください。

●国道 438 号線沿い　県立文化の森総合公園の西側となり

●大型駐車場あり

●徳島バス 佐那河内線、徳島市バス 一宮線
【亀井病院前】下車。１日 34 便、上下線とも病院玄関前に停車します。通院・お見舞いにご利用ください。

亀井病院 HP

〒770-8070 徳島市八万町寺山 231
TEL.088-668-1177　FAX.088-668-1122

外来のご予約に関するお問い合わせは
9:00 ～ 17:30 (日・祝をのぞく)

＊＊お知らせ＊＊

- 令和７年度の高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種（定期予防接種）を実施しています。65 歳の方へ専用の予診票が市町村から送付されています。自己負担金は 4,000 円（生活保護世帯に属する方は免除）です。
- 対象年齢以外の方も 8,761 円（税込）で接種できます。接種期間に制限がありますのでお早めにご予約ください。
- 徳島市がん検診や前立腺がん精密健診も受け付けています。
- あらかじめ電話にてご相談・ご予約ください。

＊＊病院の理念＊＊

よりよい医療を提供し
社会に貢献いたします

＊４つの基本方針＊

1. 患者さんの話に耳を傾ける医療
2. 職員全員が医療人としての技量を発揮するチーム医療
3. 患者さんの健康回復・社会復帰を目指す医療
4. 他の医療機関と連携する医療

職員全員で患者さんが
健康回復に取り組むことを
医療的にそして精神的に支援します

＊＊編集後記＊＊

今年も色々なお月見の季節がやってきました。秋の夜長に月や星を見ながら散歩をするのも好きなのですが、やはりこの時期は「食」のお月見がとても楽しみです。各チェーン店が出してくれる「月見」の数々。いつから始まって、いつ終わるのか…情報収集からこの戦いは始まっています。今年はいくつ食べることができるのか楽しみです。　（I.E）